

本明川水系流域治水プロジェクトの取組状況について 【変更・追加 説明資料】

長崎河川国道事務所

取組状況

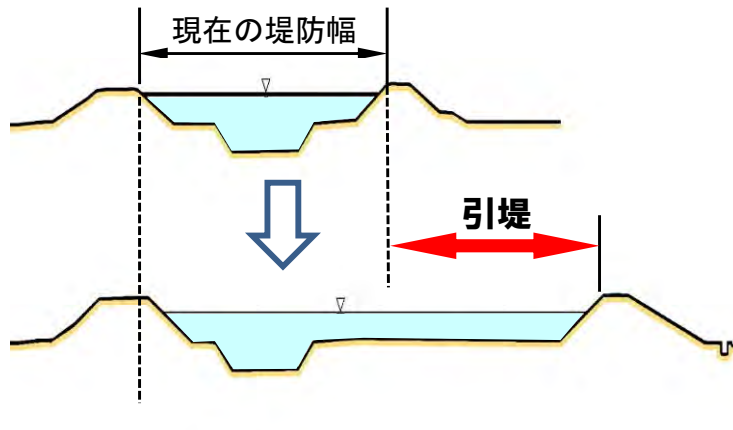
[長崎地方気象台・長崎県・諫早市・
本明川ダム工事事務所との連携事業含む]

本明川水系流域治水プロジェクト【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

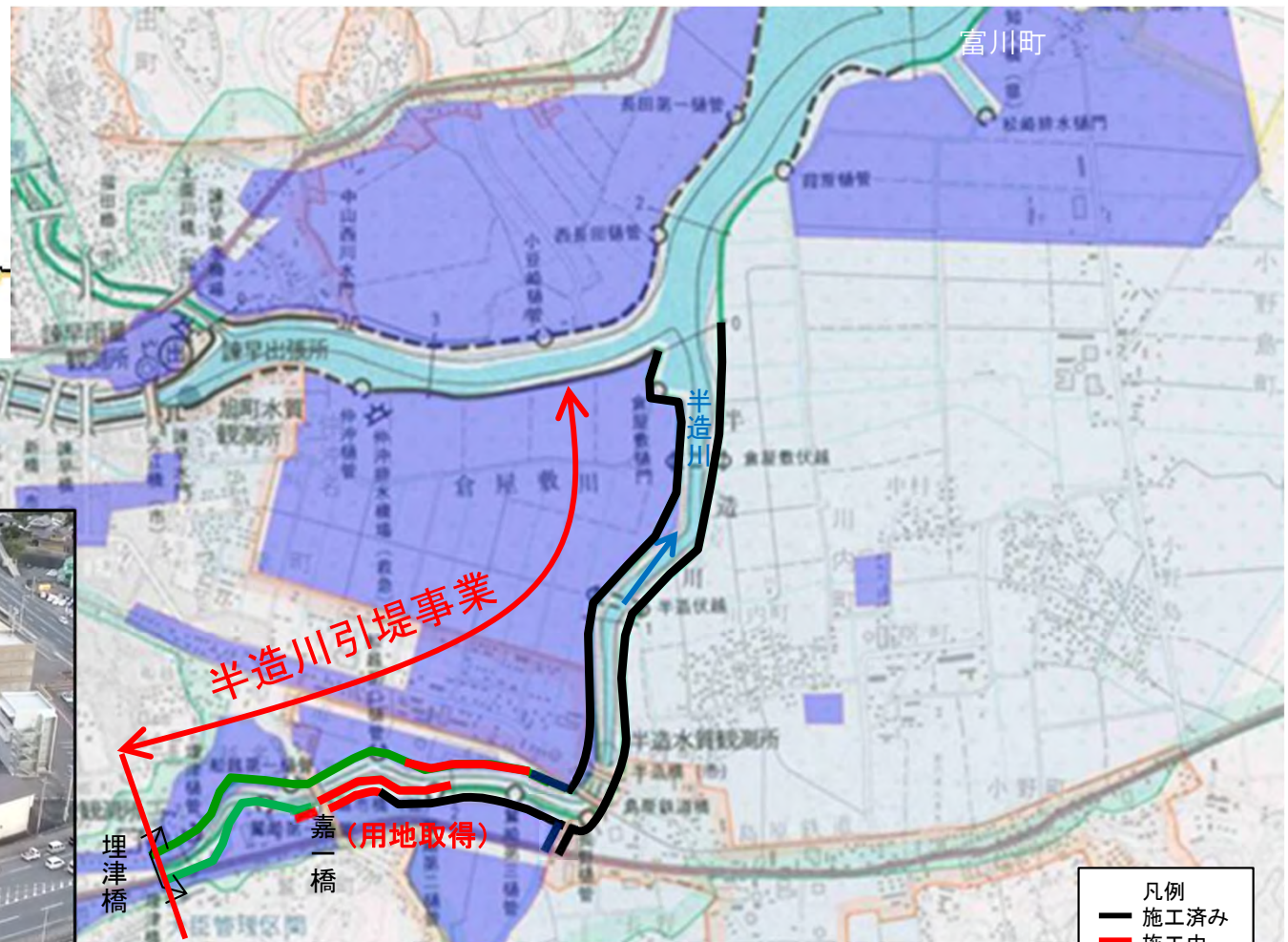
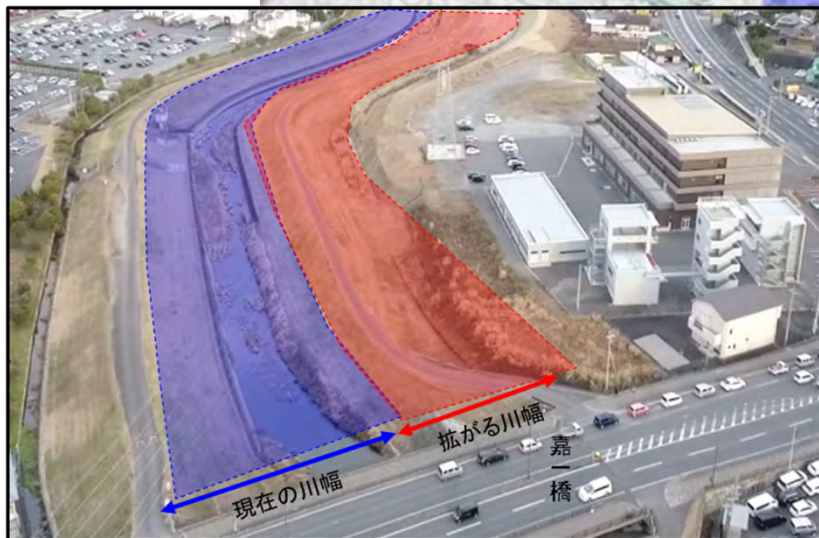
～堤防整備（引堤）～

- 本明川支川半造川は、平成5年度より川幅を広げる引堤事業を実施中
- 下流から上流に向かって順次施工し、令和6年度は、中流部を施工で、嘉一橋までの右岸側は引堤完了予定
左岸側は築堤盛土等を継続。

半造川(中流部)引堤イメージ図



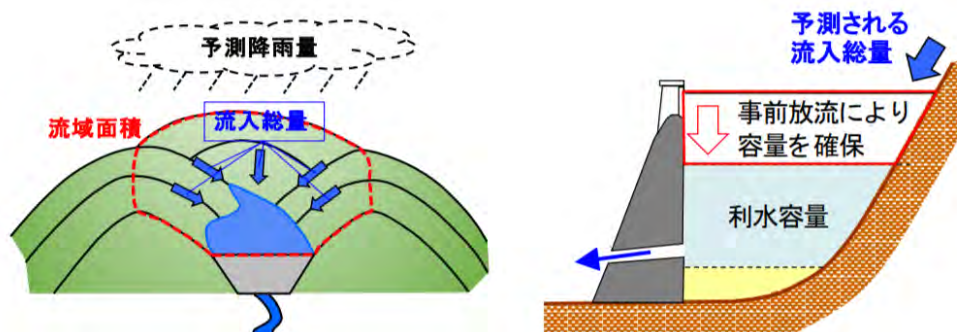
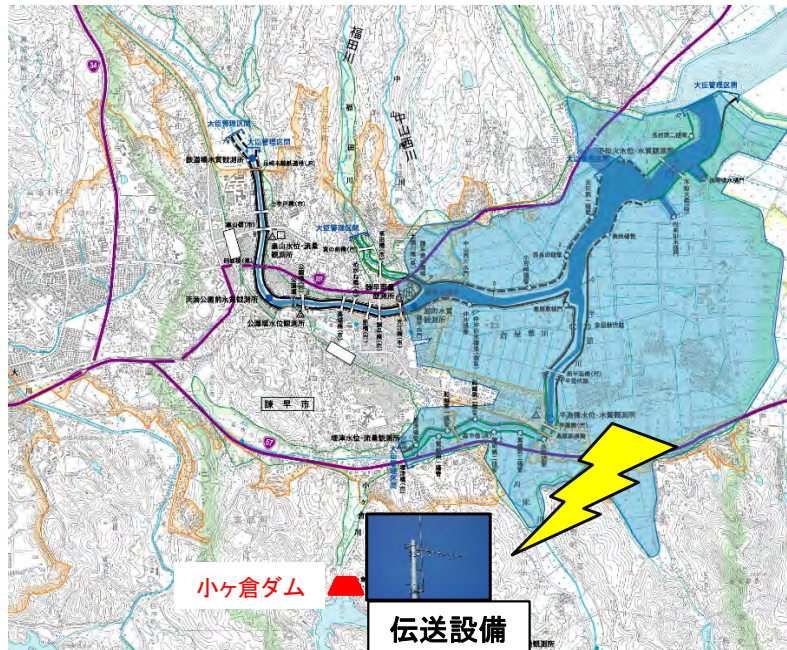
半造川引堤事業(イメージ図)



本明川水系流域治水プロジェクト【氾濫をできるだけ防ぐ・減らす対策】

～小ヶ倉ダムにおける事前放流の実施、体制構築～

- 本明川水系小ヶ倉川上流に位置する小ヶ倉ダムにおいて、「本明川水系治水協定（R2.6.5 付締結）」に基づき、降雨が予想される場合は、事前放流を実施（令和5年度は、条件を満たさず未実施）
- 小ヶ倉ダムの水位情報を河川情報システムで表示するため、国、県等の関係機関で調整中。令和4年度は、伝送設備の設置を実施、令和5年4月からWebサイト「川の防災情報」にて貯水位が表示可能となった。



ダム事前放流のイメージ図

出典) 事前放流ガイドライン 令和2年4月
国土交通省 水管理・国土保全局

本明川水系流域治水プロジェクト【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

～関係機関と協力した防災教育の促進～ 【長崎県・長崎地方気象台・長崎河川国道事務所】

- 住民の防災意識向上を図るため、防災に関する出前講座等を実施
- 令和6年度は、諫早市内の小学校等を対象に、水害や避難についての防災出前講座を実施（小学校は2校5講座（R6.12月時点））
- 将来教師をめざす長崎大学教育学部学生へ、長崎大学、長崎地方気象台、長崎河川国道事務所で連携して、防災教育講座を実施（R6.12月）

小学生を対象とした防災教育



友達や家族の方々と一緒に避難ルートを確認

諫早市PTA連合会向けに出前講座



災害に関する防災講座(国)

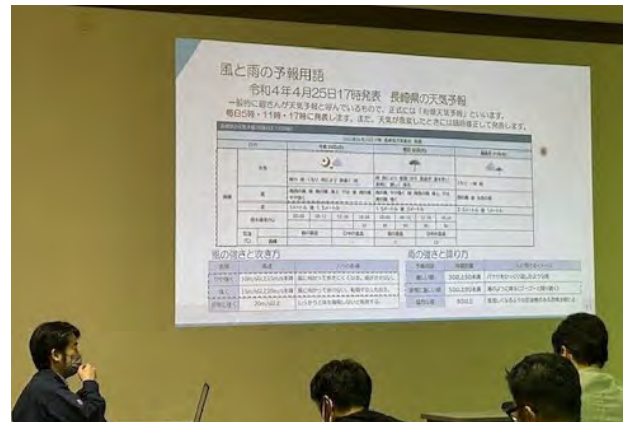
長崎大学教育学部学生への防災教育



気象・火山・水害等に関するオンライン講座



手づくり防災マップを作成



災害に関する防災講座(気象台)



学生による成果発表(防災マップ及び授業構想案)

本明川水系流域治水プロジェクト【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

～多機関連携型タイムラインの運用～【諫早市・長崎県・長崎地方気象台・長崎河川国道事務所】

- 関係22機関で策定した「本明川水害タイムライン」が、諫早市にて令和3年度より本格運用開始
- タイムラインに基づき、諫早市、長崎県、長崎地方気象台、長崎河川国道事務所、アドバイザーにて、意思決定グループ会議（Web）を開催し、出水前の情報共有、危機感共有を実施（令和6年度 出水期前の意思決定グループ会議1回、WEB会議4回開催）
- 更なる改善を図るため県管理区間の浸水被害、土砂災害も対象に追加した「本明川流域タイムライン」に改定し、令和5年度より試行運用を開始（R6.2.20 本明川水害タイムラインふりかえりの全体会議を開催）



意思決定グループ会議（Web）実施状況



本明川水害タイムラインふりかえり会議(R6.2.20)

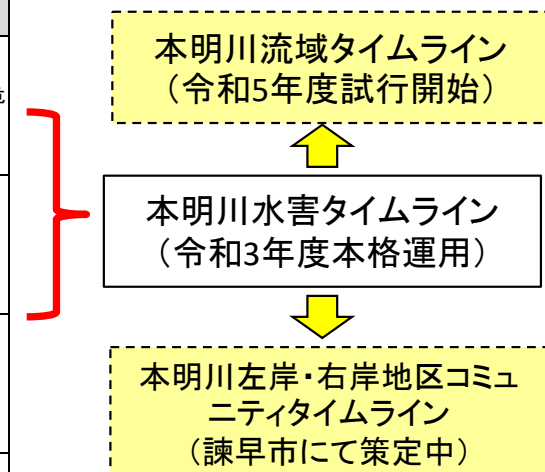


本明川水害タイムラインふりかえり会議(R6.2.20)

■水害対応タイムラインの種類と概要

種別	目的	概要	実施主体	参加機関	対象範囲	実施内容
流域タイムライン	流域自治体の防災対応に関する判断や行動を支援する	災害時に 流域内の関係機関・市町村 のトップや防災担当者が、連携・対応すべき行動を計画したもの	河川担当事務所（国）	・河川担当事務所 ・気象台 ・県 ・市町村 等	一級河川／二級河川の流域単位	流域全体の情報や危機感を早期共有
市町村タイムライン （多機関連携タイムライン） （マルチハザードタイムライン）	自治体内の住民の命を守る	災害時に 市町村の各部署 が対応すべき行動を計画したもの	市町村	・市町村（関係部局） ・消防、警察 ・教育委員会 等	市町村単位	・流域タイムラインの情報をもとに早期判断 ・避難情報提供、避難支援
コミュニティタイムライン	地域内の住民の命を守る	災害時に 町内会 が対応すべき行動を計画したもの	自治会、町内会	・自治会、町内会 ・消防団 ・民生委員、児童委員 ・学校、社協	自治会、町内会単位	市町村、各機関からの情報をもとに適切に避難
マイタイムライン （家族と私のタイムライン）	自身や家族の命を守る	災害時に 家族単位 で取るべき行動を計画したもの	家族、個人	・家族、個人	家族、個人単位	市町村、各機関、自治会、町内会からの情報をもとに適切に避難

■本明川に関する水害対応タイムライン



本明川水系流域治水プロジェクト【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

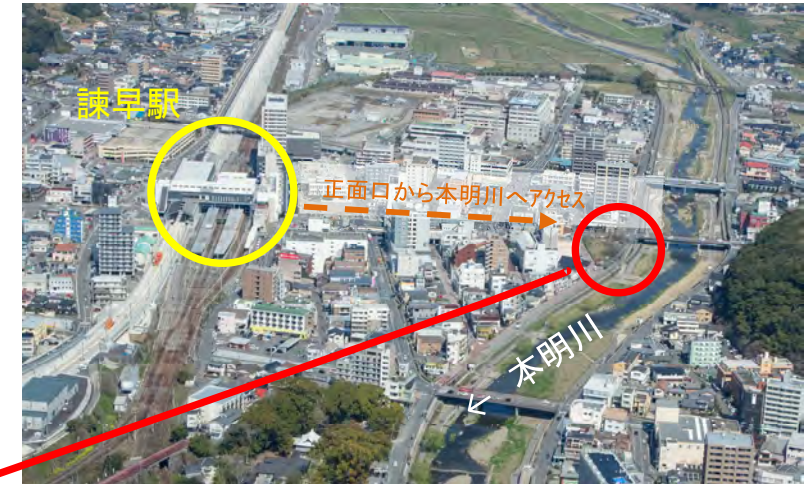
～洪水後の塵芥等の搬出拠点の整備～（天満・永昌地区かわまちづくり）【諫早市・長崎河川国道事務所】

○洪水後に発生する流木、塵芥等を迅速に集積・搬出するための拠点として、本明川右岸6k000付近の河川敷で高水敷整正、管理用通路を施工（令和4～5年度）

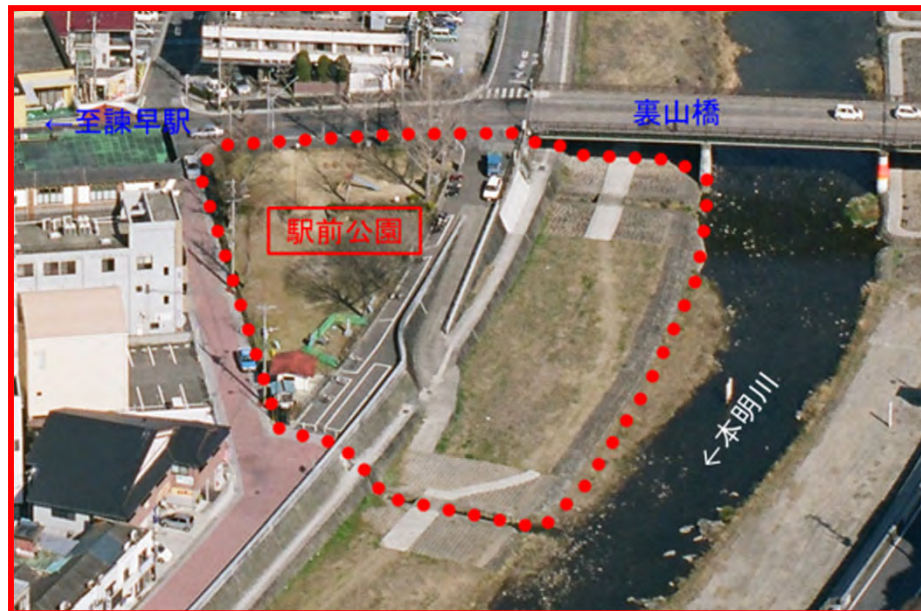
○諫早市の駅前公園整備と合わせ、かわまちづくり事業として、築堤、護岸、高水敷整正、管理用通路を一体的に施工（平成25～令和5年度）



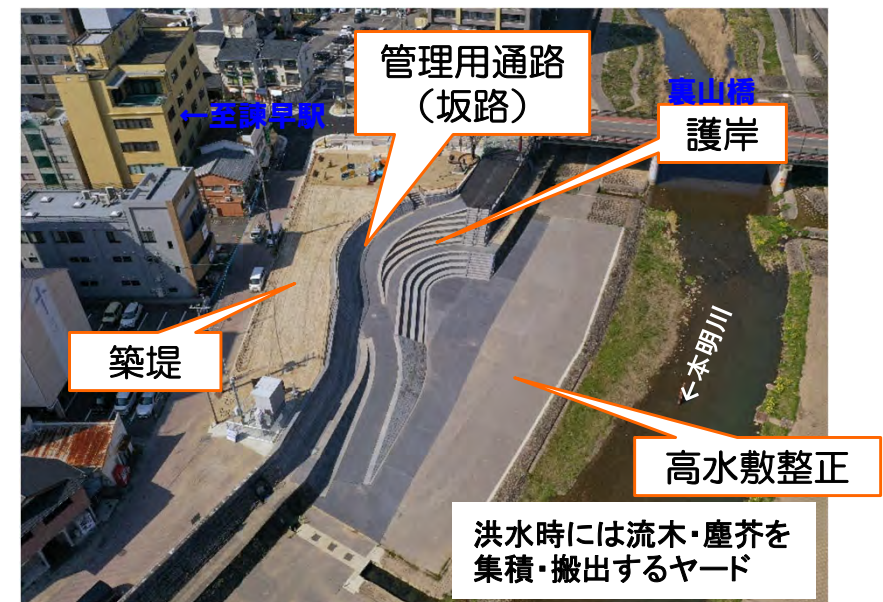
流木の堆積状況(S32.7諫早大水害)



諫早駅及び駅前公園



駅前公園及び高水敷（整備前）

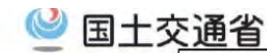


駅前公園及び高水敷（令和6年3月完成）

■洪水に関する危険度情報の一体的発信

○地域の洪水の危険度を一元的に確認できるよう、これまで別々に提供してきた「洪水警報の危険度分布」（洪水キキクル）と「国管理河川の洪水の危険度分布」（水害リスクライン）を気象庁ホームページ上で一体的に表示。（R5.2.16 運用開始）

洪水に関する危険度情報の一体的発信



別紙

「国管理河川の洪水の危険度分布※」
（水害リスクライン）

※ 大河川のきめ細かな越水・溢水の危険度を伝える

「洪水警報の危険度分布※」
（洪水キキクル）

※ 中小河川の洪水危険度を伝える

国管理河川の詳細な予測情報は水害リスクラインで提供。

水害リスクライン



洪水キキクル



統合表示

2020年7月4日04時20分

※危険度はイメージ



自治体・住民が
それぞれの詳細なリスク情報を
洪水キキクルページ（気象庁HP）
でワンストップで確認可能に

本明川水系流域治水プロジェクト【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

～関係機関と協力した防災教育の促進～

【諫早市・長崎県・長崎河川国道事務所】

- 令和6年7月20日諫早市の市民団体「本明川を語る会」主催で、「諫早大水害を語り継ぐ」会が開催。
諫早市、長崎県、長崎河川国道事務所他が後援。
- 令和6年7月22日～26日にかけて、諫早駅3階自由通路で、「本明川防災パネル展」を実施。



「諫早大水害を語り継ぐ」講演会での体験談・高校生による防災学習報告



諫早駅内での防災パネル展示



ラジオ番組(FM諫早)での広報

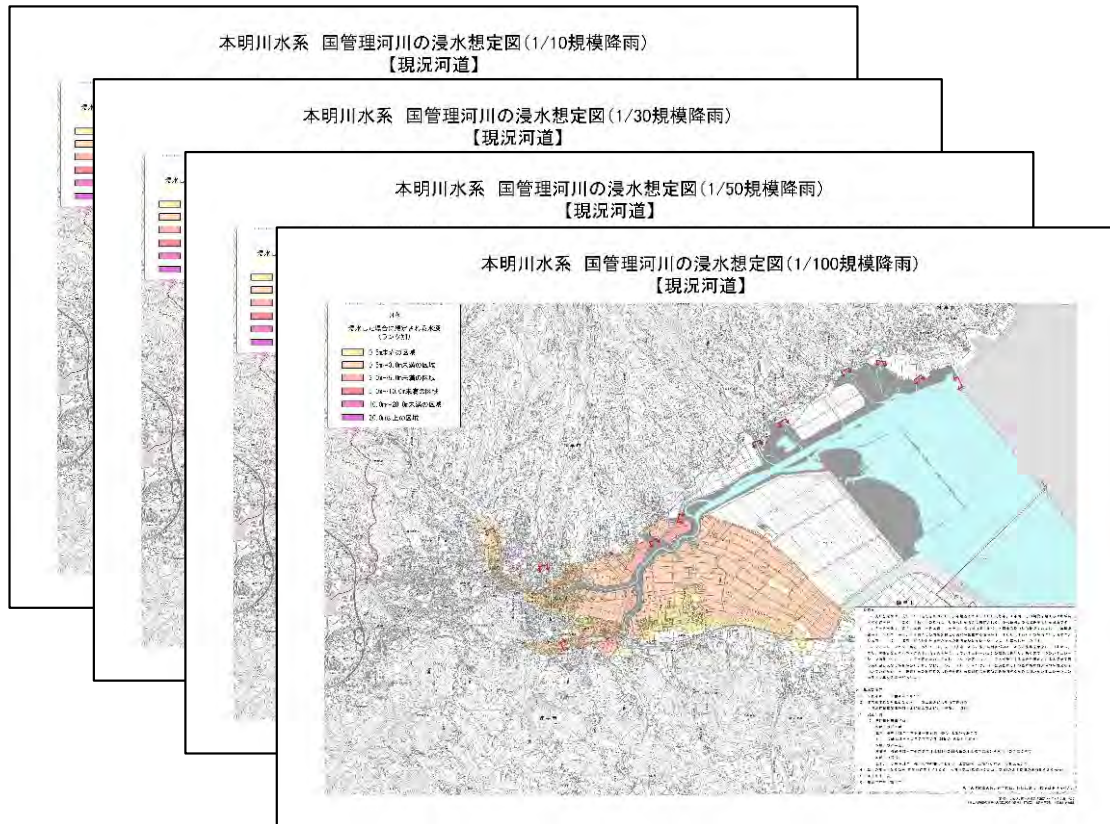
本明川水系流域治水プロジェクト【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

～内外水一体型リスクマップの作成～

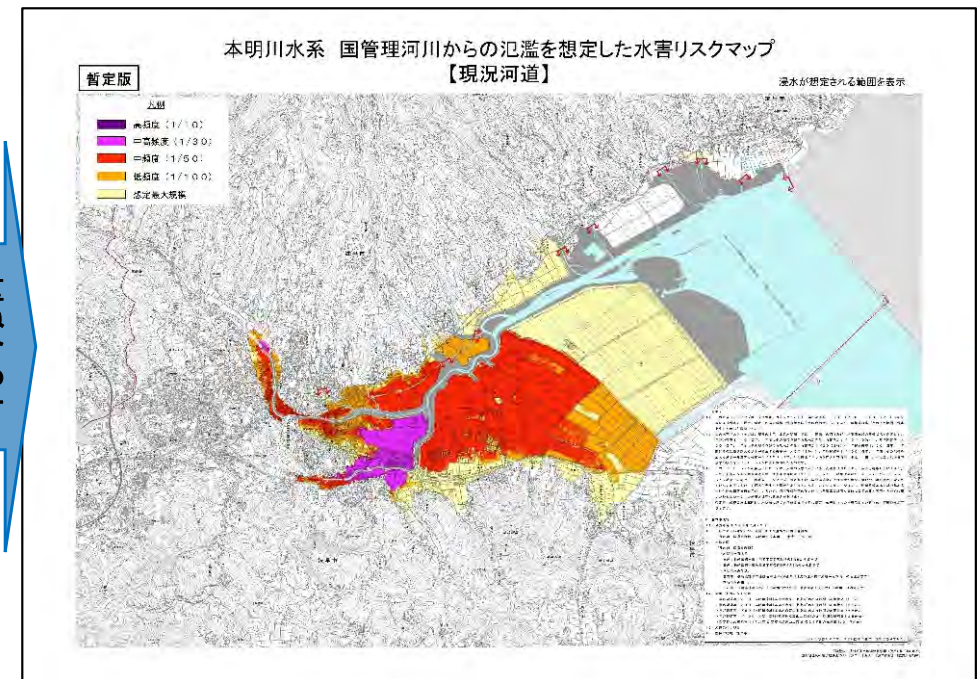
【諫早市・長崎県・長崎河川国道事務所】

- 平成28年度に、水防法に基づき住民等の迅速かつ円滑な避難に資する水害リスク情報として、想定最大規模降雨を対象とした「洪水浸水想定区域図」を作成し公表
- 令和4年度は、これに加えて、土地利用や住まい方の工夫の検討及び水災害リスクを踏まえた防災まちづくりの検討など、流域治水の取組を推進することを目的として、発生頻度が高い降雨規模の場合に想定される浸水範囲や浸水深を明らかにするため、「多段階の浸水想定図」及び「水害リスクマップ」を作成・公表
- 今後、支川氾濫や内水氾濫も表現した内外水一体型の水害リスクマップを作成予定

多段階の浸水想定図(現況河道)



水害リスクマップ(現況河道)



- ・線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけ
- ・キキクル（危険度分布）「黒」の新設と「うす紫」と「濃い紫」の統合
- ・大雨特別警報（浸水害）の指標の改善
- ・指定河川洪水予報の氾濫危険情報を予測でも発表 等

国土交通省

水位が急激に上昇し、3 時間以内に、氾濫する可能性のある水位に到達する見通しとなった場合は、予測に基づいて氾濫危険情報を発表。



■水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施

○令和6年6月6日に諫早市、雲仙市、長崎県、長崎河川国道事務所、その他防災機関が参加し、本明川水防連絡会及び河川合同巡視を実施。本格的な降雨期を前に情報連絡系統、重要水防箇所等の確認を行った。



本明川水防連絡会



河川合同巡視

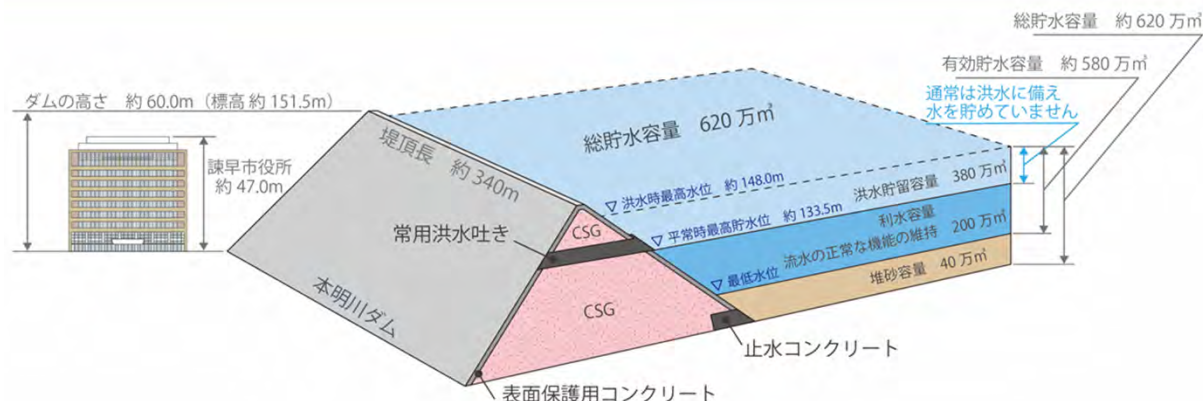
本明川ダム工事事務所

取組状況

本明川水系流域治水プロジェクト【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

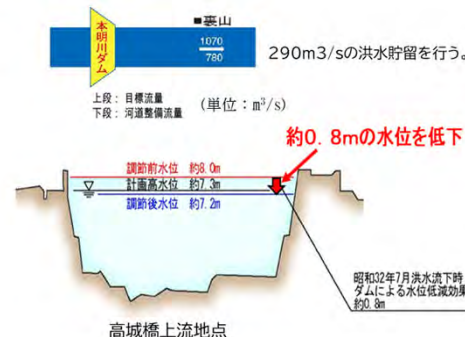
～本明川ダム建設事業(ダム本体工事着手)～

- 本明川上流に洪水調節施設として本明川ダムを建設
- 目的は、洪水時の河川水位を低下させ沿川地域を守る「洪水調節」と、渇水時にダムから流水を補給することで河川環境を維持する「流水の正常な機能の維持」
- 令和6年度より本体工事着手（完成は令和14年度を予定）



【1】洪水調節

- ・諫早大水害(S32)規模の雨が降った場合、流量 $1,070\text{m}^3/\text{s}$ に対して、本明川ダムで最大 $290\text{m}^3/\text{s}$ の貯留を行うことで、ダム下流の本野地区や諫早市街地などの氾濫被害の低減を図る
- ・諫早大水害規模の雨が降った場合、ダムなしの場合約 16.2km^2 の浸水面積が解消されると想定



【2】流水の正常な機能の維持

- ・渇水時において、本明川の安定的な流量の確保を図る動植物の生息・生育等の環境や良好な水質を確保
ダム下流の農業用水の安定的な取水の確保



本明川水系流域治水プロジェクト【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

～関係機関と協力した防災教育の促進～

- 各地のイベントに、本明川ダムブースを設けてダム模型を使ってダムの効果について説明を実施
- R6年度の実績：2回（本野地区夏まつり、土木の日 in 諫早）



ダム模型



本明川ダムブースによるダムの説明状況

長崎地方気象台 取組状況

本明川水系流域治水プロジェクト【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

～在留・訪日外国人に向けた防災情報の普及啓発～

在留・訪日外国人の方が防災気象情報を理解し、安全な避難行動に結びつけるための各種言語のポイント解説コンテンツ等を制作・提供することで、外国人の方々を含めた地域全体の防災力を向上させることを目的とする。

現在提供中の外国人向け情報（赤字は前回報告時より追加）

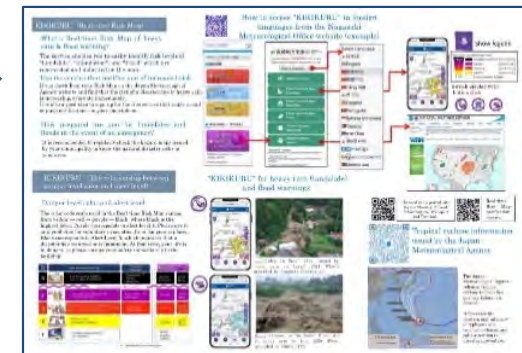
○電子コンテンツ（長崎地方気象台HPに掲載中）

- ・天気予報、気象警報・注意報、キキクル…14か国語で表示可能
- ・キキクル紹介動画（易しい日本語での説明）



○リーフレット（長崎地方気象台HPに掲載中）

- ・WEBサイト利用啓発リーフレット
「天気（てんき）をスマートフォンでみてみよう」
…日本語（ふりがな付き）
- ・気象情報解説リーフレット
「大雨の時の安全な避難行動のために」
…日本語、英語、中国語（簡体字・繁体字）、ベトナム語、
韓国語、インドネシア語、ネパール語
- ・地震・津波リーフレット（日本語版及び英語版）



左の二次元コードから
アクセスしてみてください！

URL : <https://www.jma-net.go.jp/nagasaki-c/kikikuru/kikikuru.html>

本明川水系流域治水プロジェクト【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

～線状降水帯の予測精度向上に向けた取組～

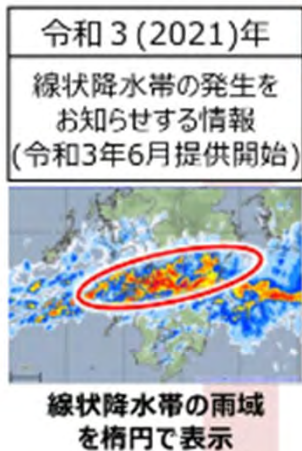
観測の強化、予測の強化の取組の成果を順次反映することで、線状降水帯に関する情報の段階的な改善を実施。

- ・ 令和4年6月、線状降水帯による大雨の可能性の半日程度前からの呼びかけ（広域を対象）を開始。
- ・ 令和5年5月、線状降水帯の発生をお知らせする情報（最大30分程度前倒して発表）を開始。

令和6年5月から、半日程度前からの呼びかけについて、対象地域を府県単位に絞り込んでの運用を開始。

線状降水帯による大雨の可能性をお伝え

「明るいうちから早めの避難」・・・段階的に対象地域を狭めていく



令和4(2022)年～

広域で半日前から予測
(令和4年6月提供開始)

令和6(2024)年～

府県単位で半日前から予測
(令和6年5月27日提供開始)

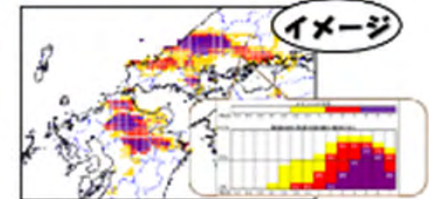
今年度の新たな運用

次期静止
気象衛星
(令和11年度
運用開始予定)



令和11(2029)年～

市町村単位で危険度の把握が可能な危険度分布形式の情報を半日前から提供



令和5(2023)年～

最大30分程度前倒して発表
(令和5年5月提供開始)

令和8(2026)年～

2～3時間前を目標に
発表

線状降水帯の雨域を表示

「迫りくる危険から直ちに避難」・・・段階的に情報の発表を早めていく

※具体的な情報発信のあり方や避難計画等への活用方法について、情報の精度を踏まえつつ有識者等の意見を踏まえ検討

国民ひとりひとりに危機感を伝え、防災対応につなげていく

(気象庁HPより一部抜粋)

本文URL : https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/jma_suigai/jma_suigai.html



長崎県 取組状況

本明川水系流域治水プロジェクト【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

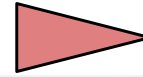
～危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの設置～

- 既存の水位計の他、危機管理型水位計を長崎県にて設置済み。
- 洪水時等に河川の状況を提供をすること目的として、簡易型の河川カメラの設置を実施。（令和3年 国1箇所 長崎県1箇所）



川の防災情報

で検索



水位情報やカメラ画像を確認



本明川水系流域治水プロジェクト【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

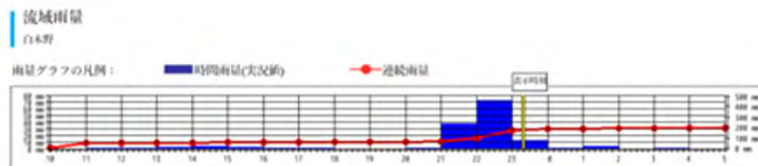
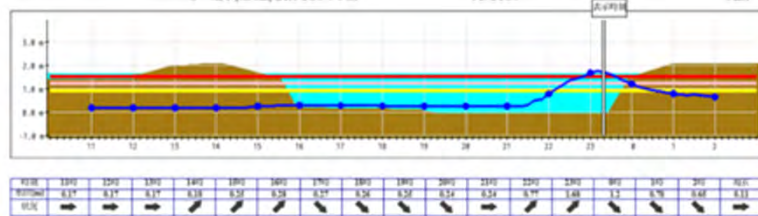
～プッシュ型情報配信、防災無線等を活用した情報発信の強化～

○切迫性が伝わる情報内容、提供方法の検討、必要な見直しの実施と市民への周知

長崎県からの防災情報の提供

諫早市内において、国、県で設置している水位計17箇所、雨量計17箇所のデータを河川砂防情報システム（インターネット及びスマートフォン）やNHKデータ放送にて公表している。

危機管理型水位計については、平成30年度に諫早市内18河川、うち本明川流域では新倉屋敷川、八天川、他10河川に設置し、運用を開始している。



河川の水位情報

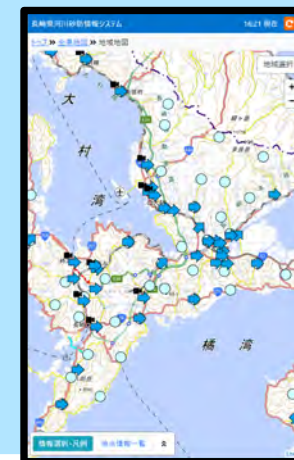


地デジ（テレビ）

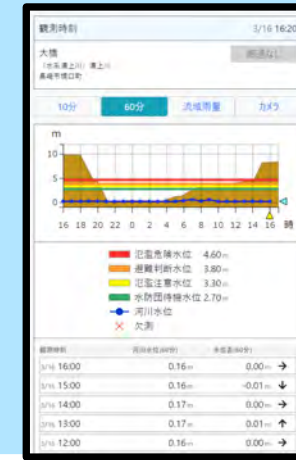


NAKSS河川水位情報 （令和5年6月表示画面大幅リニューアル）

スマートフォン版（令和4年3月より運用開始）



地図選択画面



河川水位画面



河川監視カメラ画面

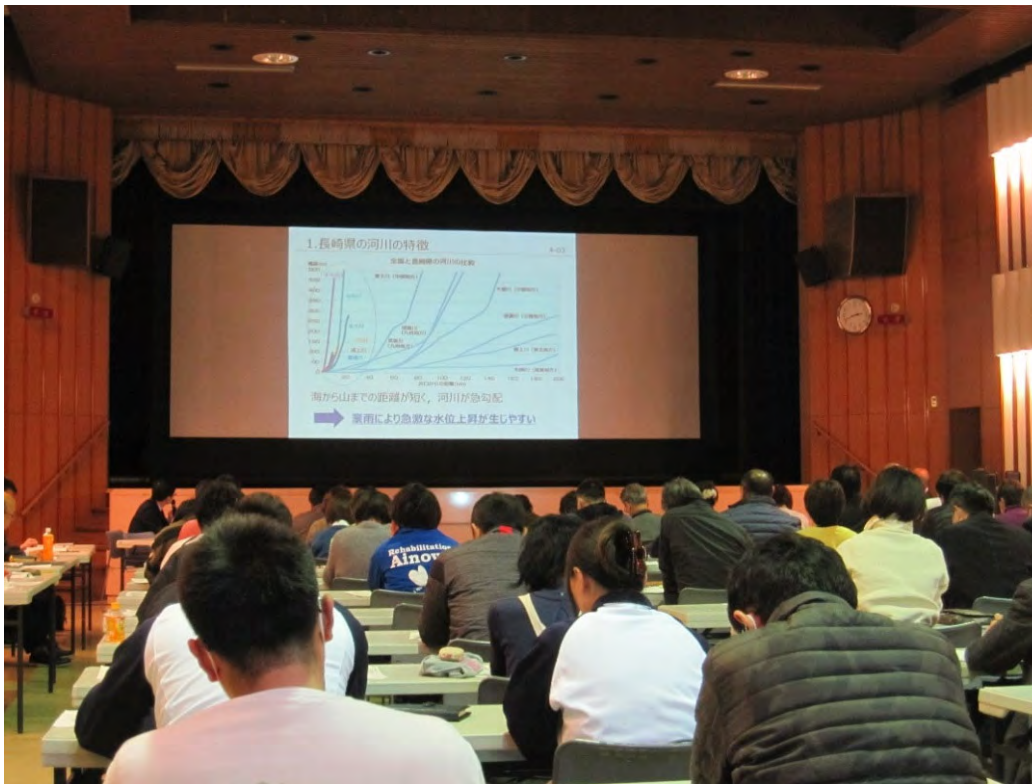
本明川水系流域治水プロジェクト【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

～要配慮者利用施設の避難計画作成・訓練～

○要配慮者利用施設への情報伝達や避難訓練の計画検討及び支援活動

要配慮者利用施設の管理者向け説明会

令和5年度には本明川、半造川の浸水想定範囲内を含む県内にある医療・福祉関連施設に対し、避難確保計画作成及び避難訓練実施に関する説明を行った。（県主催）



出席者

- ・県内の医療・福祉士施設管理者
- ・県や他市町の防災、医療・福祉担当者

説明者

- ・県河川課，県砂防課

避難確保計画の作成状況を精査し、諫早市からの要請があれば県河川課も作成促進に繋がるよう、講習会開催などで引き続き諫早市と連携を図っていく。

本明川水系流域治水プロジェクト【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

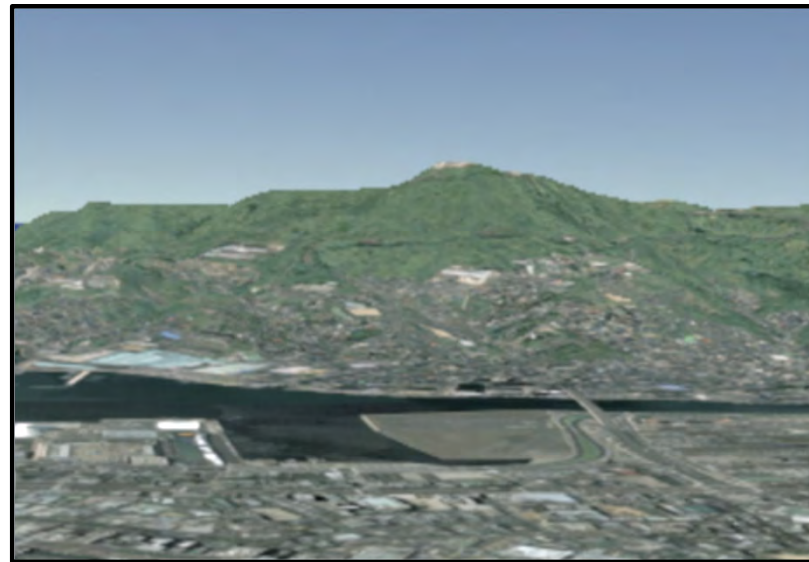
～プッシュ型情報配信、防災無線等を活用した情報発信の強化～

○土砂災害警戒情報を補足する情報の提供

土砂災害警戒区域等立体確認システム

身の周りの土砂災害警戒区域等を確認できるARコンテンツを構築【令和3年度】

R3年度にスマートフォンやタブレット等の位置情報を利用し、利用者現在地においてカメラが映し出す現実世界に土砂災害警戒区域等の情報を重ねて表示することができるARコンテンツを構築した。



スマートフォンやタブレットのカメラを向けるだけで、身の周りの**警戒区域等の確認**ができます。



◎土砂災害警戒区域等立体確認システム

▶土砂災害危険箇所、土砂災害警戒区域や山地災害危険区域等を立体図で簡易に確認することができます。

▶詳しい操作方法

長崎県HP : (URL) <https://www.pref.nagasaki.jp/>

⇒砂防課

⇒『災害危険箇所・災害警戒区域情報』

本明川水系流域治水プロジェクト【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

～土砂災害警戒区域等の現地表示促進～

○土砂災害警戒情報を補足する情報の提供

土砂災害警戒区域等の現地表示促進

避難所など標識設置箇所を中心に土砂災害警戒区域等を表示する標識の設置【令和4年度より】

- ・標識データの描画作成【令和3年度】
- ・標識の市町への移管について了承を得た箇所から設置開始【令和4年度】

**知って
おこよう!**

あなたの町の危ない区域

心がけよう! 自然災害から命を守る3つの心得

口之津公民館周辺
令和3年12月作成

**危険な場所と
避難先の事前確認!**

**避難情報・
気象情報に注意!**

早めの避難!

土砂災害警戒区域
土砂災害の恐れがある区域
地すべり 土石流 かけずれ

土砂災害特別警戒区域
建物や住民の命に特に危険が生じる恐れがある区域
土石流 かけずれ

浸水想定区域
住宅などが水につかる浸水が想定される区域
洪水 津波

指定緊急避難場所
災害から一時的・緊急的に避難する場所

施設名	住所	電話番号	地震	火災	津波
1 口之津公民館	口之津町南2093-1	73-6776	○	×	○
2 口之津老人福祉センター	口之津町南2102-1	050-5506-2014	○	○	×
3 口之津体育館	口之津町南2093-1	—	○	×	×
4 口之津中学校	口之津町南3476	73-6770	○	○	○
5 口之津第二体育館	口之津町丁4073	—	○	○	○
6 口之津小学校	口之津町丁4455-3	73-6772	○	○	○
7 口之津第一体育館	口之津町南2061-1	—	○	○	○
8 長崎県立口之津高等学校	口之津町南3272	86-2180	○	○	○

指定避難所
被災した人たちが必要な期間、滞在できる施設

施設名	住所	電話番号	地震	火災	津波
1 口之津公民館	口之津町南2093-1	73-6776	○	×	○
2 口之津老人福祉センター	口之津町南2102-1	050-5506-2014	○	○	×
3 口之津体育館	口之津町南2093-1	—	○	×	×
6 口之津小学校	口之津町丁4455-3	73-6772	○	○	○

QRコード

← 現在地付近の区域情報について、スマートフォン等を用いて立体的に確認することができます。
https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/anzen-anshin/saigainisonaete/saigaikenkasyo_saigaikaikaikijouhou/

掲載されている区域・各種連絡先等は、標識作成時点（令和3年12月）の情報です。区域情報等が更新されている場合は、「長崎県総合防災GIS」や市町が作成する「ハザードマップ」、各種問い合わせ先にて最新の情報を確認することができます。

お問い合わせ

ハザードマップ・避難所等について：長崎県 防災課 TEL 0957-73-6600

各種危険区域等について：長崎県 建設部 管理課 TEL 0957-63-0111

本明川水系流域治水プロジェクト【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

～関係機関と協力した防災教育の促進～

○長崎県防災推進員（自主防災リーダー）養成講座

自助、共助に欠くことができない自主防災組織の結成促進と活動の活性化のためには、その活動のリーダーが必要。県では、関係機関と連携し、県内各地で、養成講座を開設し、リーダーとなるべく人材を要請。

○防災推進員（自主防災リーダー）養成講座

令和2年度：【開催】東彼杵、平戸（長崎会場は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止）

令和3年度：【開催】島原（大村・長崎会場は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止）

令和4年度：【開催】対馬、大村

令和5年度：【開催】壱岐（11/11、11/12）、諫早（12/9、12/10）

雲仙（NPO日本防災士主催 11/18、11/19）

令和6年度：【開催】新上五島（10/19、10/20）、平戸（12/7、12/8）

長与（NPO日本防災士主催 10/5、10/6）

○自主防災リーダーフォローアップ研修【令和4年度より実施】

県の防災推進員養成講座を受講した方々が、受講後のスキルアップ、地域での防災活動のリーダーになることにつなげていくため、防災関係の研修会を行う。

○自主防災リーダーフォローアップ研修

令和4年度：【開催】長崎（参加者80名）

令和5年度：【開催】長崎（参加者33名）

令和6年度：【2月開催予定】長崎

本明川水系流域治水プロジェクト【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

～砂防施設の整備促進による土砂流出抑制～

○大雨などによる溪流の浸食や山腹崩壊などで発生する土石流による被害を軽減し、下流域の河道閉塞や河川の氾濫を低減するため、本明川水系山口谷川事業間連携砂防事業を進めていきます。

【位置図】



○保全対象

人家12戸、公民館1棟【地域防災計画に記載のある避難所】
2級市道湯野尾線100m、その他市道山口高峰線160m

○実施内容

砂防堰堤1基（R2～R4債務） 溪流保全工1式（R5）
市道補修等（R6）



着工前



現況(R6.4月)

本明川水系流域治水プロジェクト【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

～治山施設の整備促進による土砂流出抑制～

○諫早市高来町平田地区において令和3年度までに治山ダム2基の整備が完了し、土砂や流木の流出抑制により下流域の河道閉塞や河川氾濫の防止に対する効果を発揮している。

着工前



完成後(R4.1)



保全対象



本明川水系流域治水プロジェクト【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

～護岸整備（河道拡幅）中山西川～

○平成2年度より支川中山西川の河川改修事業を実施。

○洪水を安全に流下させるための取り組みとして、令和4年度に河川改修事業が完了。

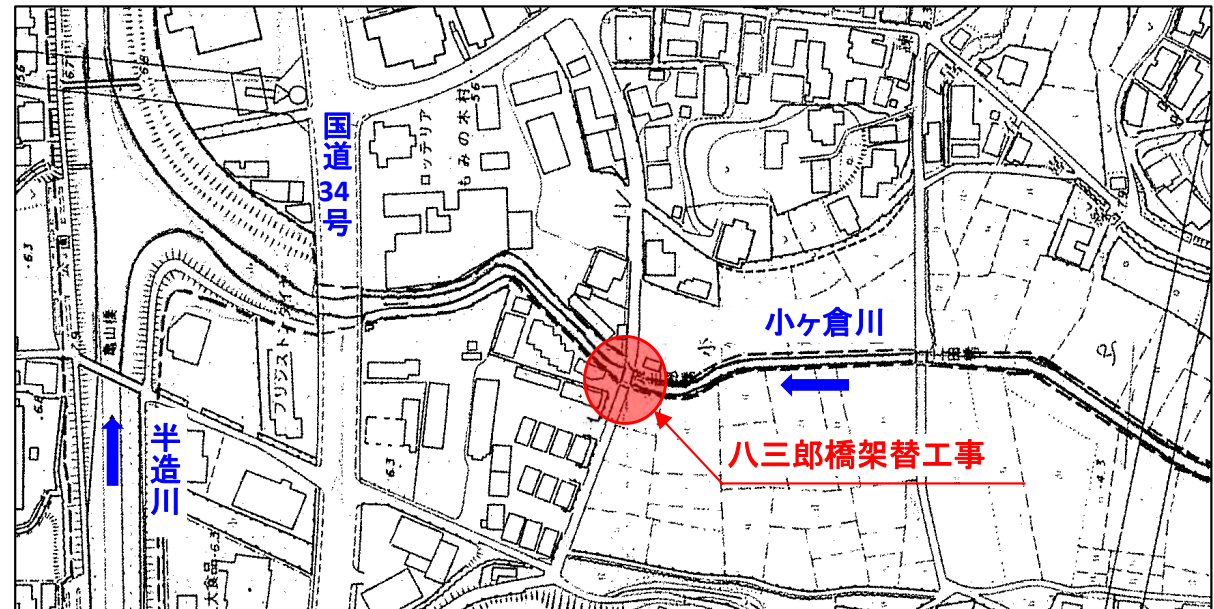
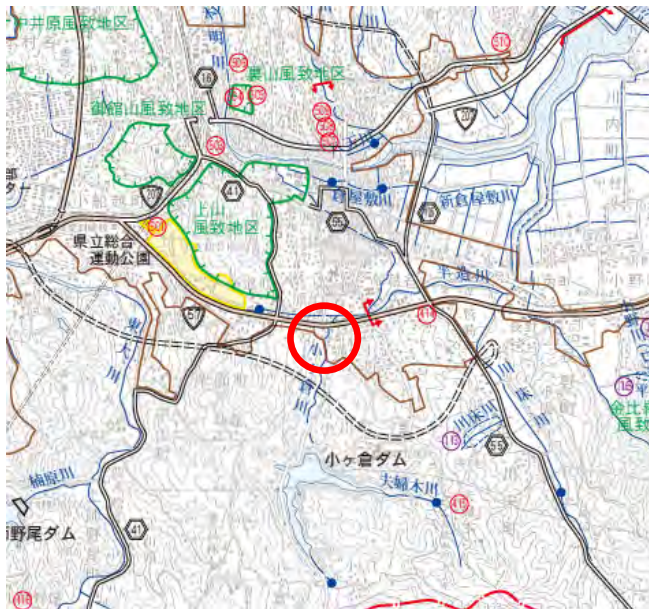


施工状況(1k340～終点)

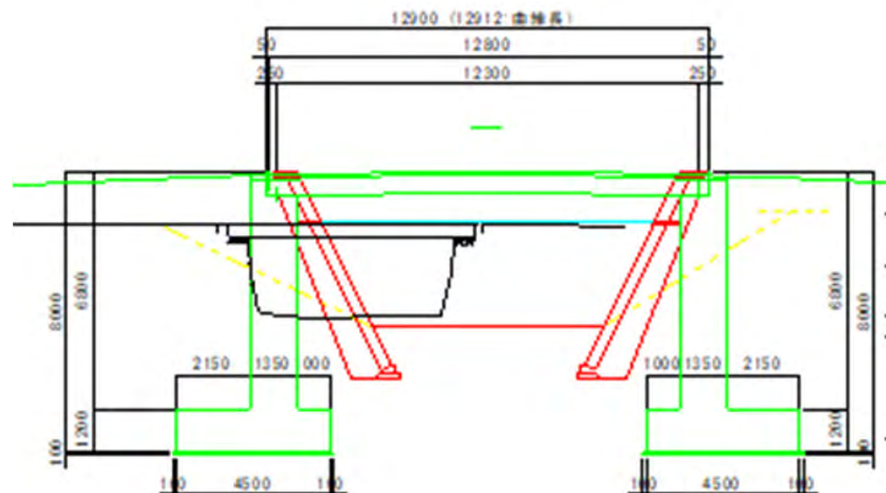
本明川水系流域治水プロジェクト【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

～護岸整備・橋梁架替（河道拡幅）小ヶ倉川～

○小ヶ倉川において、河積不足により頻繁に浸水被害が発生しており、河道拡幅に伴う市道橋（八三郎橋）を実施中（R6～R8）



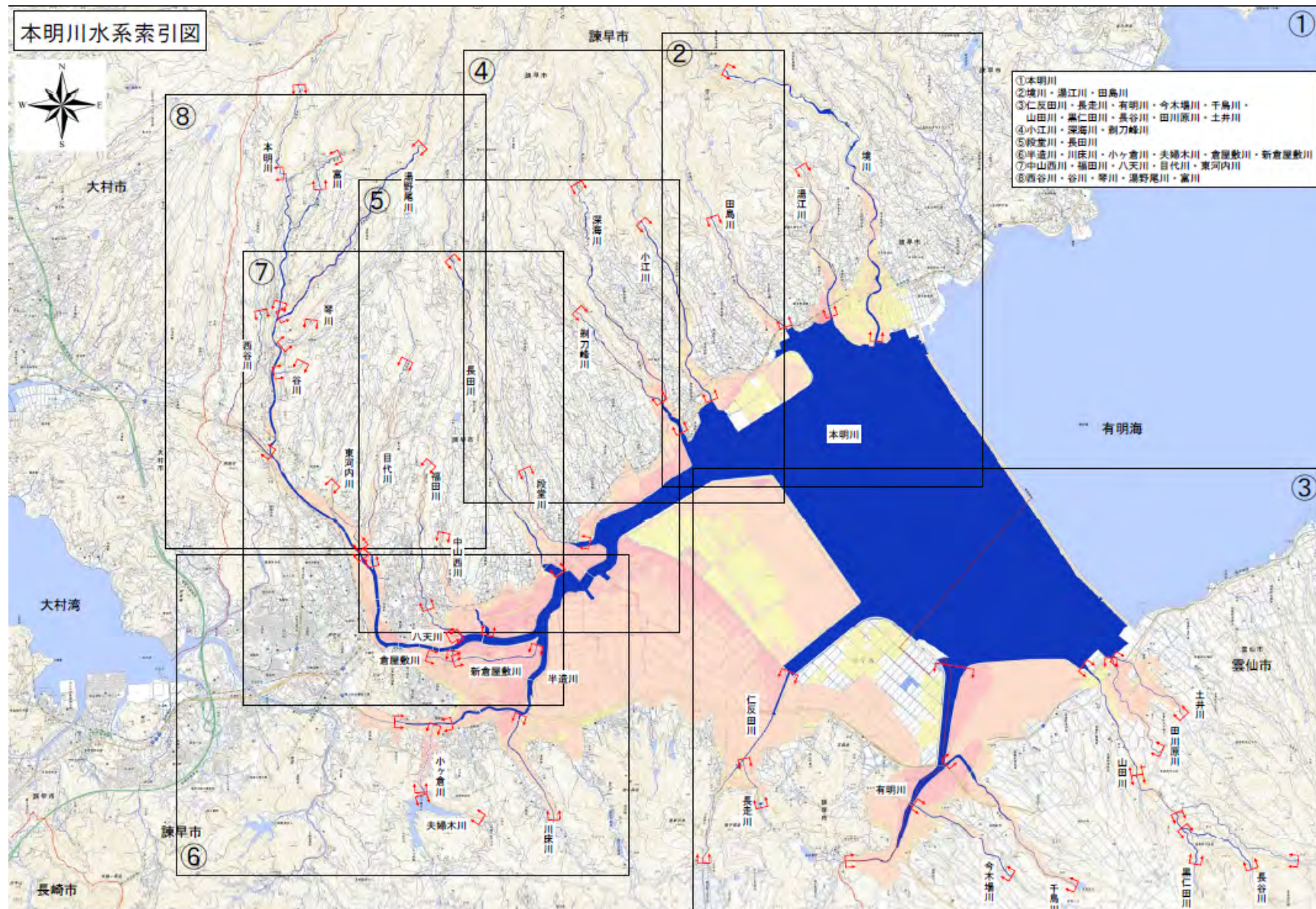
八三郎橋



本明川水系流域治水プロジェクト【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

～水害リスク情報未提供区域の解消～

○水害リスク情報の提供されていない県管理河川（本明川水系においては35河川）について、浸水想定区域図（想定最大規模）公表に向けた検討を実施。



本明川水系において35河川で浸水想定区域図を令和6年6月21日告示

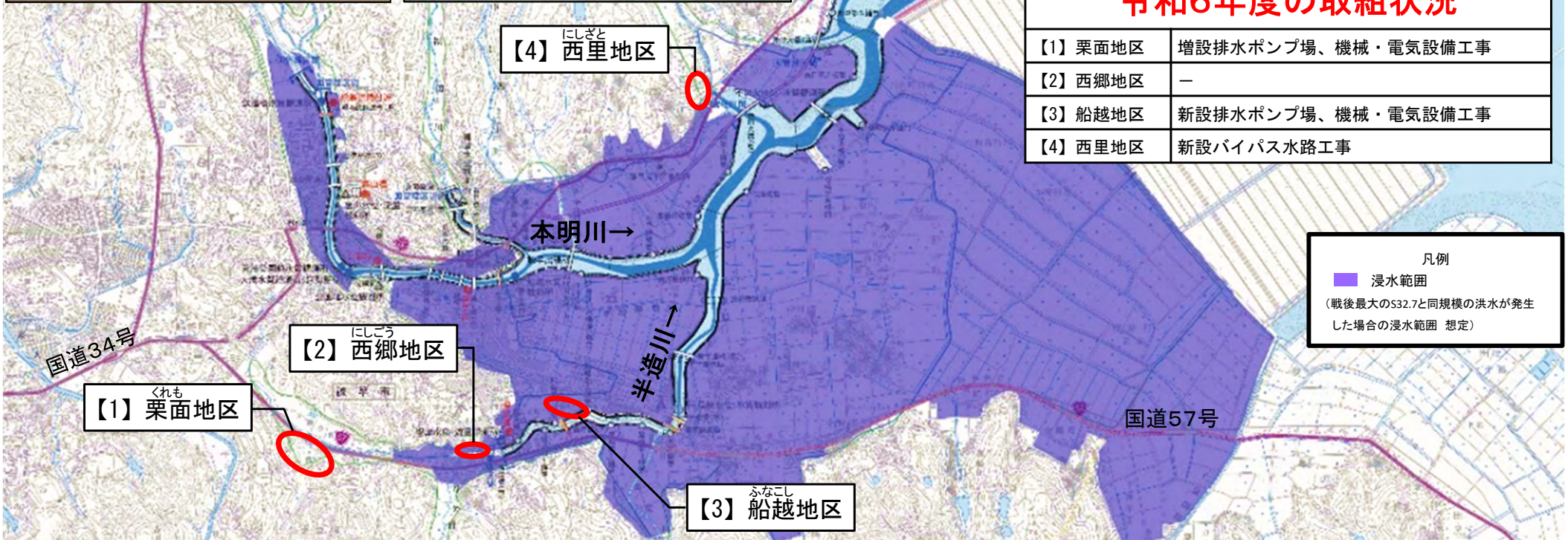
諫早市 取組状況

本明川水系流域治水プロジェクト【氾濫をできるだけ防ぐ・減らす対策】

～排水機場等の整備・運用～

○市街化の進展に伴う流出量の増加や、豪雨の激甚化・頻発化により内水被害が発生している4地区について、被害を軽減させるため、内水対策施設の再整備を行う。

○令和6年度は、栗面地区及び船越地区は排水ポンプ場や機械電気設備などの工事、西里地区はバイパス水路整備工事に着手している。また、西郷地区は既存排水ポンプ場の排水効率を改善するため制御監視装置の改修を来年度実施予定。



本明川水系流域治水プロジェクト【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

～公共下水道区域（雨水）における内水浸水想定区域図の作成～

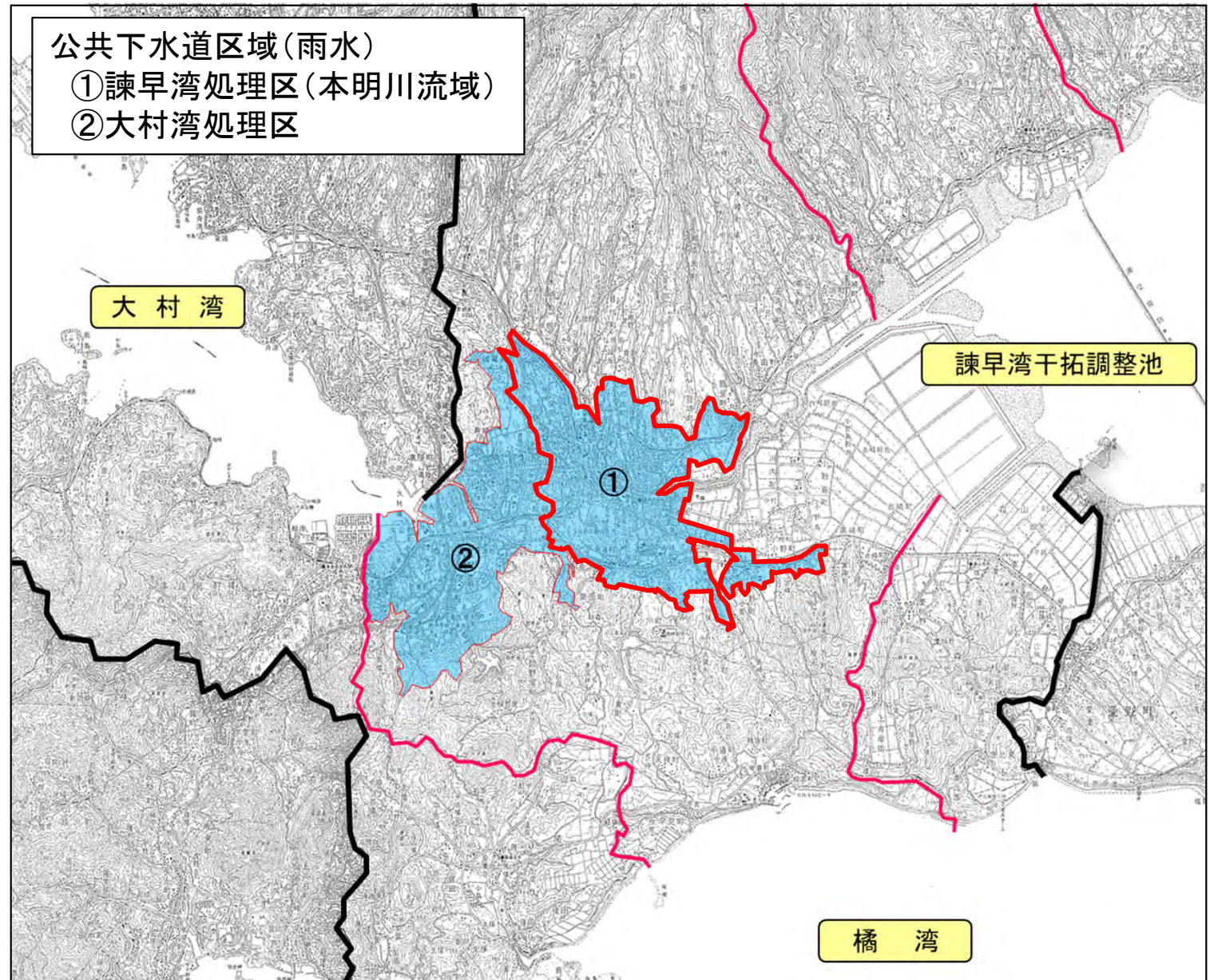
○公共下水道区域（雨水）における内水浸水想定区域図（想定最大規模）の公表に向けた取り組みを実施。

【内水氾濫】

下水道の雨水排水能力を上回る浸水、あるいは河川水位の上昇により、下水道から河川へ放流できず浸水



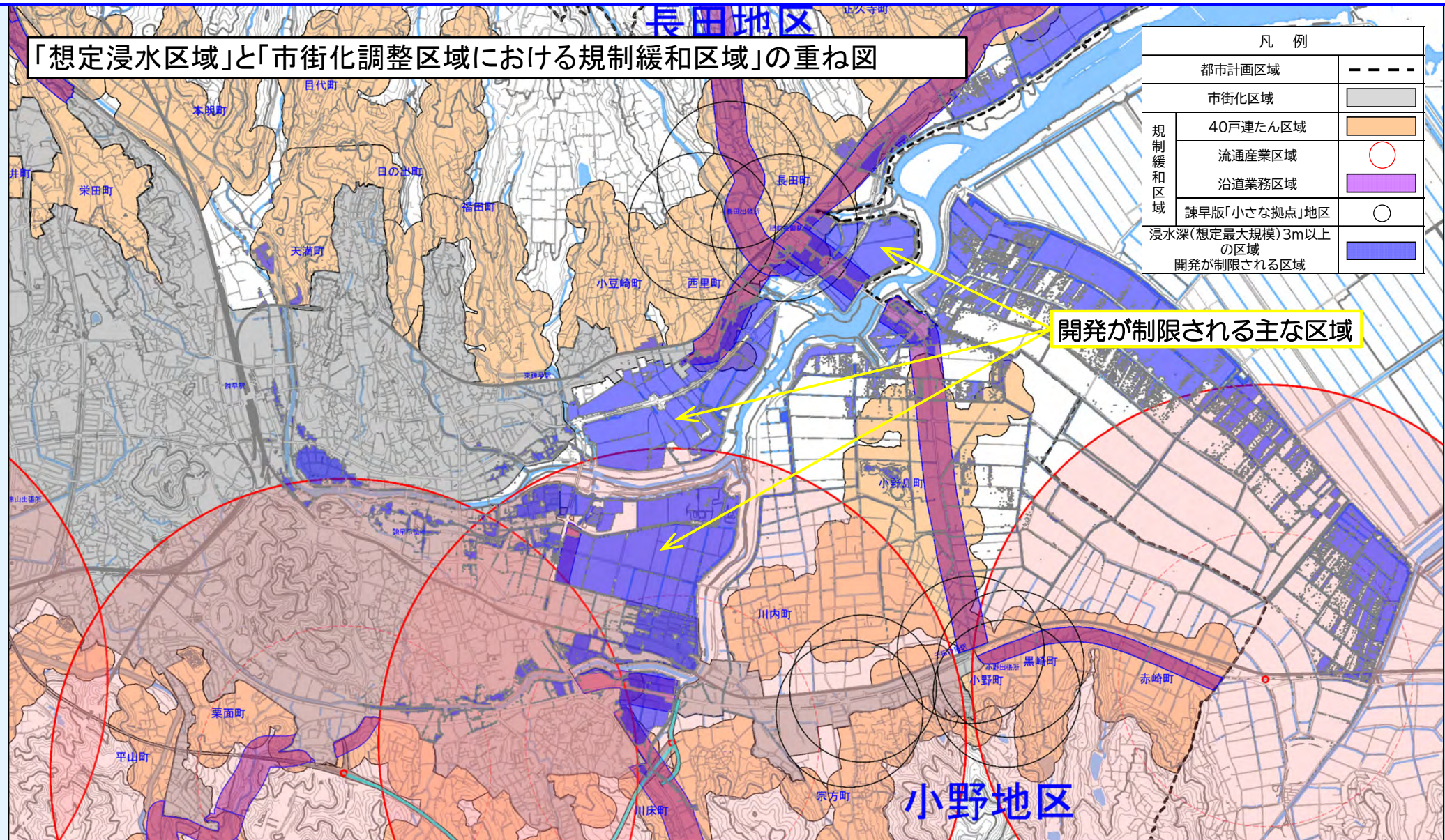
公共下水道区域（雨水）における内水浸水想定区域図（想定最大規模）を令和6年度に作成し、告示予定



本明川水系流域治水プロジェクト【被害対象を減少させるための対策】

～市街化調整区域における新たな開発等への対応～

- 頻発・激甚化する自然災害に対応するため、災害ハザードエリアにおいて開発を抑制し、安全なまちづくりのための対策を講じる。
- 改正都市計画法（令和4年4月1日施行）に伴い、市開発行為等の許可の基準に関する条例を改正し、災害リスクの高いエリアでの開発を原則禁止。
- 本明川流域では、市街化調整区域内の浸水想定区域のうち、災害時に人命に危険を及ぼす恐れの高い、想定浸水深3m以上の区域が規制の対象。



区分	実施内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害対象を減少させるための対策	市街化調整区域における新たな開発等への対応	諫早市			

本明川水系流域治水プロジェクト【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

～豊かな森づくり基金による民有林の継続的な森林整備支援～

■豊かな森づくり基金による民有林の継続的な森林整備支援

○近年の木材価格の低迷や森林所有者の高齢化等により手入れ不足の森林が増加している中で、森林所有者が行う植栽や間伐等の作業に対する支援を行うことにより、森林整備を推進し、森林の持つ国土保全、洪水防止などの公益的機能を高度に発揮させる。

【事業計画】

●広葉樹植栽推進計画・・・私有林等への広葉樹植栽及び広葉樹による複層林化の推進

	第1次計画(H18～R2)		第2次計画(R3～R12)		
	(計画)	(実績)	(計画)	(R3～5実績)	(R6計画)
植 栽	225ha	210ha	90ha	18.6ha	5.5ha
複層林化	61ha	51ha	-	-	-
下 刈	1,360ha	1,262ha	800ha	138.3ha	41.6ha
除 伐	74ha	73ha	80ha	12.8ha	4.0ha

●針葉樹整備促進計画・・・私有林等への針葉樹林の森林整備の推進

	第1次計画(H19～R2)		第2次計画(R3～R12)		
	(計画)	(実績)	(計画)	(R3～5実績)	(R6計画)
植 栽	14ha	11ha	10ha	7.2ha	3.0ha
下 刈	77ha	62ha	113ha	20.4ha	12.0ha
間伐(除伐込)	1,700ha	1,811ha	1,930ha	436.4ha	145.0ha
枝 打	25ha	10ha	10ha	-	-
作 業 路	100,300m	143,889m	160,000m	29,903m	16,000m

【R5実施状況】



広葉樹(クヌギ)植栽



針葉樹(ヒノキ)間伐



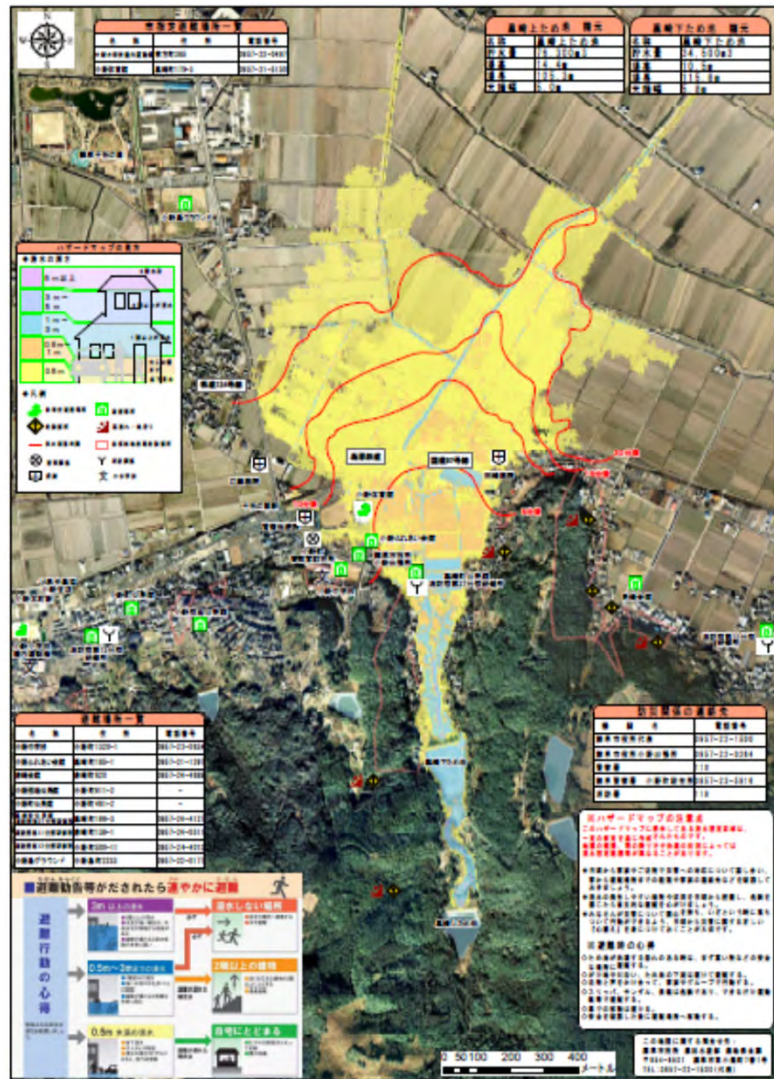
作業路整備

本明川水系流域治水プロジェクト【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

～土砂災害・ため池ハザードマップの作成～

○防災重点農業用ため池53箇所のハザードマップの作成が令和4年度までに完了し、ホームページに掲載。
○ハザードマップは住民の方とワークショップを行いながら作成。

【 完成したハザードマップ 】



【 住民の方とのワークショップ 】



本明川水系流域治水プロジェクト【被害の軽減、早期復旧、復興のための対策】

～関係機関と協力した防災教育の促進～

- 自治会や各団体へ民間の知識や技術を活用した防災講座を実施
(防災講座へのNPO法人街づくり防災・諫早の講師派遣、オンラインによるリモート型防災講座の実施)
- 国立少年自然の家との災害時における施設利用協定締結に基づく避難訓練の実施
- 市職員（幹部職員や新規採用職員）向けに防災講座を実施

民間の知識や技術を活用した防災講座



NPO法人による防災講座



リモート型防災講座

災害協定に基づく避難訓練



避難所設置や運営に関する職員訓練



住民による避難訓練

市職員に向けた防災講座



図上で本明川流域の浸水想定エリアを確認



防災体制の強化のための幹部職員研修

本明川水系流域治水プロジェクト【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

～コミュニティタイムラインの普及促進～

○水害時の防災活動の役割、避難行動を明確化したタイムラインの策定【引き続き実施】

○複数の自治会の合同による本明川左岸地区及び本明川右岸地区コミュニティタイムライン検討会の発足

【経過】

令和4年11月4日 本明川左岸・右岸地区コミュニティタイムライン検討会発足式・第1回検討会

令和5年2月13日 第2回本明川左岸・右岸地区コミュニティタイムライン検討会

令和5年8月18日 第3回本明川左岸・右岸地区コミュニティタイムライン検討会

令和5年11月21日 第4回本明川左岸・右岸地区コミュニティタイムライン検討会

～22日 先進地視察(球磨村・人吉市)

令和6年3月11日 第5回本明川左岸・右岸地区コミュニティタイムライン検討会



構成自治会である右岸地区
(16自治会)、左岸地区(9自治
会)の自治会役員の参加による
グループワーク

本明川左岸・右岸地区コミュニティタイムライン検討会
(第1回:令和4年11月4日)

○関係機関と協力、連携した防災学習、防災教育による普及啓発活動の拡充【引き続き実施】

高校生を対象に諫早市洪水ハザードマップを用いたマイ・タイムライン作成に向けた防災学習を実施。



令和5年10月13～14日 諫早東高等学校

本明川水系流域治水プロジェクト【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

～要配慮者利用施設の避難計画作成・訓練～

○要配慮者利用施設への情報伝達や避難訓練の計画検討及び支援活動【引き続き実施】

聴覚障害者によるまち歩き探検を支援

「災害・避難所等について」学習し、避難所を体験した。



いさはや聴覚障害者 防災ネットワーク委員会、
聴覚障害者、諫早市社会福祉協議会、
日本防災士会長崎県支部、国、市、により
「災害・避難所等について」学習し、避難所を体験した。

実施日：令和6年11月24日 約30名参加

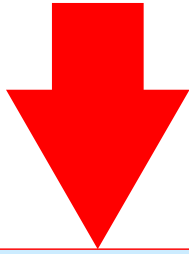
本明川水系流域治水プロジェクト【被害の軽減、早期復旧、復興のための対策】

～関係機関と協力した防災教育の促進～

○関係機関と協力、連携した防災学習、防災教育による普及啓発活動の拡充

- ・地域の防災リーダーとして、地域の防災活動に貢献する防災士の育成を支援する制度を創設

【引き続き実施】



❖市民の防災意識の更なる向上と、地域や近隣の住民が互いに協力し合い、被害を軽減させる「地域の防災力」を強化させることにより、市民の安全・安心の確保と災害に強いまちづくりを目指す。

令和5年度 防災士資格取得 補助金交付

防災士の資格を取得しようとする方に対し、補助金を交付します。



防災士とは？

防災に対する一定の意識や知識、技能を持っている人に与えられる民間団体が認定する資格です。

対象者

1. 諫早市内に住所を有する者
2. 防災士の資格を取得した旨の情報を市内の自治会等に提供することに同意する者
3. 防災士の資格取得に関し他の助成制度による支援を受けていない者または受ける予定でない者

対象経費

1. 防災士資格取得試験受験料 3,000円
※特例の制度にて防災士の資格を取得する場合は除く
2. 防災士資格認定登録料 5,000円

申請に必要なもの

- 諫早市防災士資格取得費補助金交付申請書
- 防災士認定証の写し
- 防災士資格取得試験受験料の支払を証明する書類の写し
- 住所を証明する書類の写し(運転免許証、健康保険証等)

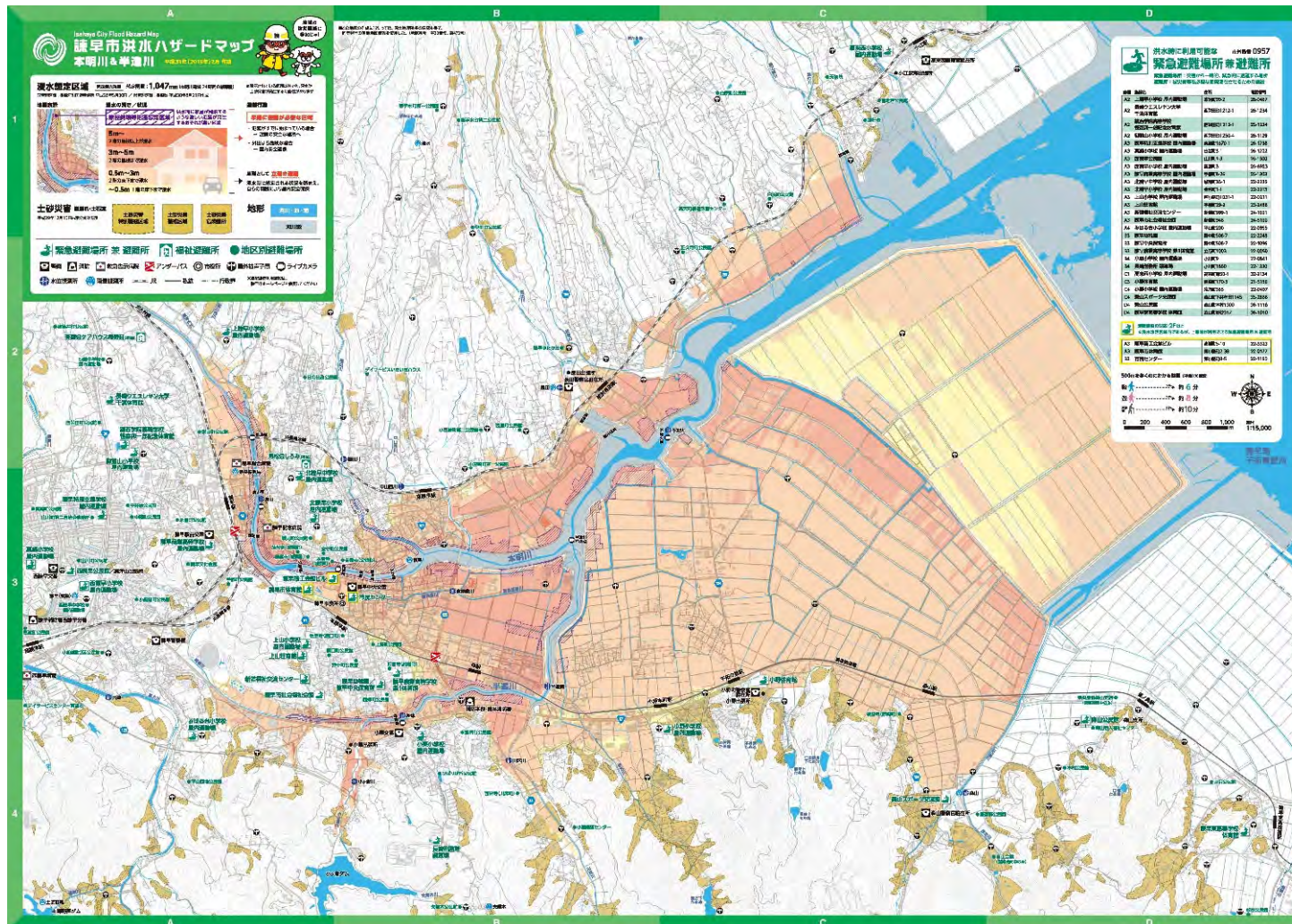
本明川水系流域治水プロジェクト【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

～水害リスク情報未提供区域の解消～

○地域協議の場等でのハザードマップや防災パンフレットの掲示・配布

- ・洪水浸水想定区域図について、国管理区間では、H28.5.30に公表済。
- ・県管理区間は、H30.8.21に公表済。
- ・国及び県による浸水想定区域図を受け、諫早市は「諫早市洪水ハザードマップ」を作成し、浸水想定区域内の全世帯に配布した。【平成30年度、令和元年度】

❖ 浸水想定区域内の全世帯に対し、想定される浸水リスクを周知



本明川水系流域治水プロジェクト【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

～自治会による防災マップ作成～

○自治会による防災マップの作成及び避難訓練の実施【引き続き実施】

防災マップづくりの推進

201自治会が防災マップ作成済み。(89.3%)



本明川水系流域治水プロジェクト【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

～まるごとまちごとハザードマップの作成～

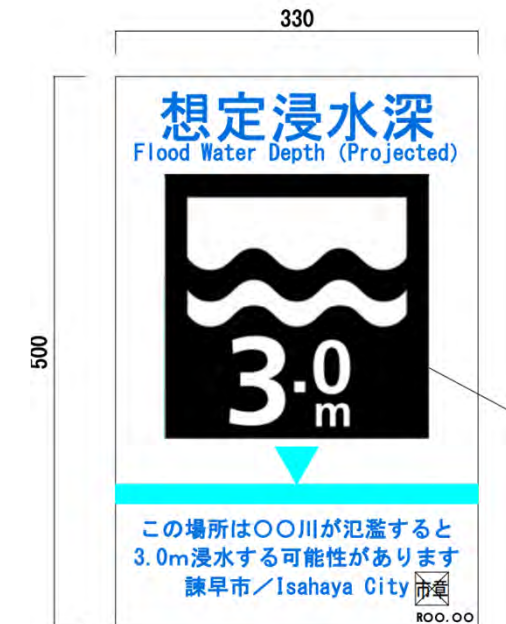
○まるごとまちごとハザードマップの作成（R6年度中予定）

○生活空間であるまちなかに浸水のリスクを表示して自然に目に入るようにすることで、平常時から水防災への意識を高め、発災時には命を守るための住民の主体的な避難行動を促し、被害を最小限にとどめることを目指す。

【まるごとまちごとハザードマップ】



【想定浸水深表示看板】



- 想定浸水深を表示した看板を電柱に添架
- 設置場所 諫早小学校校区内
※設置場所については、推進事業会議メンバーにて選定
- 設置枚数 N=109枚
- まるごとまちごとハザードマップ推進事業会議
開催日時：令和6年7月17日（水）
出席者：自治会長、長崎河川国道事務所など約20名

- 材 質
アルミ板0.5mm加工
カプセルプリズム型（HIP）透明インク
ジェット

本明川水系流域治水プロジェクト【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

～避難場所・避難経路の確保～

高層施設・民間施設の避難施設としての活用

- ・自主避難所改修支援事業費補助金(令和5年度)【引き続き実施】
- ・自治会等が開設する自主避難所について、避難者の受け入れに必要な施設改修を支援
- ・補助率 対象経費の10/10
- ・補助限度額 100万円



❖ 住民が「自分たちの身は自分たちで守る(自助)」という意識のもと、発災時には、近所の人と助けあう「共助」による災害被害の軽減を図る。

令和5年度改修



令和6年度改修

